

各都道府県板金工業組合 理事長様
青年部長様

全日本板金工業組合連合会
社団法人日本建築板金協会
青年部長 尾崎 昌行

第30回全国建築板金競技大会 課題への質問に関する回答


前略 標記に付いて、下記の質問がありましたので回答いたします。
関係者の方々へのご回答などを宜しくお願い致します。

草々

建築技能の部 (Z I C)

質問 1	展開図を書く際、線がまざらないようにするために、他の色の鉛筆を使うことは可能ですか？
回答 1	許可します。 <p style="text-align: right;">(12/5)</p>
【訂正】	課題及び審査基準に記載の「ZIC 指定工具一覧」について 下記 2 点を訂正致します。 1) 「ため棒」について 【誤】長さ 1.82m 以下直径 20・25・30 mmは使用不可 【正】長さ 1.82m 以下 <u>直径 40・50・60 mm</u> は使用不可 2) 「柳刃」について 【誤】横吹兼用 【正】 <u>横葺兼用</u>
質問 2	製図に底板の展開は必要ですか？
回答 2	課題及び審査基準をご確認下さい。
質問 3	展開図の中央に穴を開けて型板として銅板に貼り付けても良いですか？ その場合、製図の採点に影響はありますか？
回答 3	課題及び審査基準をご確認下さい。

質問 4	①ため棒で直径 20・25・30 mm以外なら、21・24・29 mmは使用可能ですか？サイズ計測はノギスを使用ですか？ ②ため棒 25 mmは使用不可ですが、25.4 mmは使用可能ですか？
回答 4	「ため棒」の直径の寸法は『上記 1)』の通り修正致します。 直径 40・50・60 mm以外のため棒は使用可能です。 また、サイズ計測はノギスを使用いたします。
質問 5	折台について、折台と木台は同寸法とありますが、これは折台の外面のことか、折台下部の鋭角に入った部分、どちらのことですか？
回答 5	全ての部分において同寸法です。
質問 6	工具に保護用のテープ等を張るのは可能ですか？
回答 6	可能です。
質問 7	(使用工具について) 工具の加工と、手入れ(表面のバリ取り・面取り)について、明確な判断基準は何ですか？できれば、わかりやすく双方の写真を添付していただけますか？
回答 7	課題及び審査基準に記載されているように「道具・木台の形が作品の形に合わせたと思われる場合は、治具と見なし使用不可」との判断基準が大前提となります。 ただし、個々の工具類につきましては、事前にその使用の可否を判断することは非常に困難となりますので、第一日目に参加選手立会のもと、持参道具点検の時間を設け個々の判断を行っております。以上をご理解の上、必要に応じ予備の道具を持参していただく等のご対応をいただければ幸いです。 (12/14)
	※ ZIC 指定工具について このたび、指定工具についてのご質問及びお問い合わせが多数ありました。課題及び審査基準にも記載のとおり、個々の工具類につきましては、事前にその使用の可否を判断することは非常に困難であります。第一日目に持参道具点検の時間を設けてありますので、その際に判断させていただきます。
質問 8	Rの均等割を計算機で出した場合、その計算式を何処かに書かなければいけないのでしょうか。
回答 8	課題及び審査基準をご確認下さい。

質問 9	曲線定規を使用してよろしいですか。
回答 9	くも型定規以外の使用は可能です。
質問 10	「会場で準備・配布するもの」の中で 銅板 0.4×365×1,212 mmの定尺版 1/4Hとありますが、 <u>1/4H</u> の意味は何ですか。
回答 10	1/4Hは銅板の硬度を表します。質別は、0が軟らかい材質。1/2Hは1/4Hよりも硬い材質。おもに、1/4Hは定尺板、1/2Hはコイル材に分類されます。
質問 11	アーク液を入れる容器（2個）を持参しても良いですか。
回答 11	会場で準備します（1カップ：フラックスと銅こて洗い兼用）ので持参（持込）は禁止します。
質問 12	製図道具で「線消し」とはどんな物でしょうか。
回答 12	次のようなものです。 
質問 13	内装用や塗装用の養生テープ（幅 50 mm）は使用可能ですか。
回答 13	可能です。
質問 14	「会場で準備・配布するもの」の中で溶剤棒一般的な木製割り箸を先端研削処理済みとありますが、各自形を変えても良いですか。
回答 14	競技時間内でしたら可能です。
質問 15	製図とは関係ない物をケント紙の裏に書くことは可能ですか。また、それは製図の汚れと判断されるのですか。
回答 15	課題及び審査基準をご覧ください。
質問 16	アーク液は希釈せずに使用するのですか。
回答 16	希釈して使用します。
質問 17	課題作品の写真において、Rの部分が一旦外に膨らんでから内側に入り込んでいますが、図面においては、真直ぐに下がっています。どちらが正しいのでしょうか。
回答 17	課題図面をご確認下さい。Rの部分は真直ぐに下がります。
質問 18	製図の際に指金（曲尺）を使用することは可能ですか。

回答 18	可能です。
質問 19	シゴキを行う場合、下敷としてゴム板・6mmシナベニヤを使用しても良いですか。可能な場合、折台の一部にシナベニヤを使用しても良いですか。
回答 19	(下敷として) ゴム板・6mmシナベニヤの使用は不可とします。ZIC 指定工具以外は使用不可とします。
質問 20	ため棒の材質は塩ビ・木材でも可能ですか。
回答 20	可能です。
質問 21	全青発第 19030 号で《指定工具は課題及び審査基準に記載されているように「道具・木台の形が作品の形状に合わせたと思われる場合は、治具と見なし使用不可」との判断基準が大前提となります》と回答をいただきましたが、このことは、明らかに作品の形状に合せていない物・及び手入れ(表面のバリ取り・面取り)については、工具の使用を認めるということでしょうか。
回答 21	冒頭にも記載しましたが、全青発第 19030 号で回答しました通り、個々の工具類の使用可否の最終判断については、第一日目の持参道具点検にて行います。従って『 <u>明らかに作品の形状に合せている・いない</u> 』についても同様となります。このことをご理解いただき、必要に応じ予備の工具類を持参していただければ幸いです。
質問 22	全青発第 19030 号で《折台と木台は全ての部分において同寸法》と回答をいただきましたが、同寸法なのは指定工具一覧に記載されているので解ります。どの部分を捉えて言っているのかが解らずに質問しております。下の 4 列のうち、どれが正解ですか。なお、A・B が正解とすれば、材料の反発力(スプリングバック)により、直角には折れないこととなります。回答例として、Aのみ・AとB・Cのみ・CとDのように回答していただきたいです。
回答 22	CとDです。

【お願い】

競技大会に関するご質問は各部門の課題に記載のとおり、平成19年12月17日（月）17時をもちまして、受付を終了致しました。なお、本回答にて第30回全国建築板金競技大会の課題に対する質問等の回答を終了致します。ご協力ありがとうございました。

【第30回全国建築板金競技大会 課題への質問に対する回答 課題修正の案内 配信履歴】

1. 全青発第19029号（平成19年12月5日 配信）
2. 全青発第19030号（平成19年12月14日 配信）
3. 全青発第19031号（平成19年12月17日 配信）
4. 全青発第19032号（平成19年12月25日 配信）

(12/25)